

第8回アジア冬季競技大会記念貨幣発行にかかる広報 ～独立行政法人造幣局・大会組織委員会と連携しての取組～

- ◆ 平成29年2月、第8回アジア冬季競技大会(2017/札幌)が、札幌市及び帯広市において開催。
- ◆ 財務省は、当大会を「国家的な記念事業」とし、成功に向けた機運を醸成するため記念貨幣を発行、独立行政法人造幣局(以下「造幣局」)より販売。
- ◆ 北海道財務局及び帯広財務事務所は、財務省・造幣局や当大会組織委員会と連携し、マスメディア訪問のほか造幣局理事長記者会見への北海道財務局長同行や庁舎内でのPRコーナー設置など、記念貨幣発行のPRを広く実施。
- ◆ 記念貨幣発行PRが当大会のPRとなったことに加え、当大会組織委員会事務局である札幌市をはじめ諸機関との関係強化へ発展。

1. 成果事例の概要等

【第8回アジア冬季競技大会(2017/札幌) 大会略称:2017冬季アジア札幌大会】

- アジア冬季競技大会は、アジアの45の国と地域が加盟するアジアオリンピック評議会が、アジア地域における冬季スポーツの発展を図ることを目的として開催する総合国際スポーツ大会。日本では、第1回(昭和61年)と第2回(平成2年)が札幌市で、第5回(平成15年)が青森市で、それぞれ開催。
- 第8回アジア冬季競技大会(2017/札幌)が平成29年2月に札幌市(スケートのみ帯広市)で開催。スキー・バイアスロン・スケート・アイスホッケー・カーリングの5競技11種別に、32の国と地域から、約2,000人の選手・役員が参加。

【第8回アジア冬季競技大会記念貨幣】



財務省は、「国家的な記念事業」である第8回アジア冬季大会(2017/札幌)の成功に向けた機運を醸成するため、記念貨幣を発行。

額 面 1,000円
販売価格 9,000円
発行枚数 5万枚
販 売 造幣局

- 財務省・財務局 統一広報(北海道財務局の本局及び全財務事務所・出張所)北海道内7記者クラブへ財務省発表資料を提供(平成28年10月14日)

記事掲載:北海道新聞、十勝毎日新聞
読売新聞、毎日新聞

- 造幣局理事長による札幌市での広報(北海道財務局長同行)

申し込み受付開始記者会見(11月11日)
記事掲載:北海道新聞、朝日新聞
毎日新聞

大会組織委員会へ記念貨幣贈呈(11月29日)
記事掲載:北海道新聞



大会組織委員会へ記念貨幣贈呈(造幣局提供)

- 財務省と造幣局による帯広市での広報(帯広財務事務所長同行)

地元マスメディア、商工会議所等訪問(12月1～2日)

コミュニティFM局「FM-JAGA」
(株式会社エフエムおびひろ)に出演
記念貨幣をPR
記事掲載:北海道新聞、十勝毎日新聞



FM-JAGA出演後の様子(エフエムおびひろ 提供)

- 札幌第1合同庁舎・帯広財務事務所庁舎にPRコーナーを設置
記念貨幣及びアジア冬季競技大会のポスター掲示、リーフレット備置
帯広財務事務所庁舎PRコーナーは**十勝毎日新聞に記事掲載**(平成28年11月18日)



札幌第1合同庁舎



帯広財務事務所庁舎

2. これまでの取組の成果等

- 当該広報活動を通じて記念貨幣に関する情報が広く報道され、諸機関との関係強化を図ることができた。とりわけ、**記念貨幣発行PRがアジア冬季競技大会のPRともなり、大会組織委員会事務局である札幌市等との関係強化につながった。**

3. 今後の北海道財務局等の対応

- 札幌市等に、財政や金融行政以外に記念貨幣業務も「財務局の仕事」との認識が浸透し、これをステップに、今後、記念貨幣発行のみに関わらず、各種意見交換会やイベント後援なども積極的に行うよう、連携の拡充を図っていく。